

CCSE-030M- 極数 (11~39 極)

ディスクリート配線方法についてのご案内
 両端から各3極程度のディスクリート用パッドを使用する場合には、配線カバーのネジ部と干渉し、配線が行いづらい事があります。
 右記写真をご参照の上、配線を行ってください。



※写真は S Body (19mm 幅) ですが M Body (24mm 幅) も同様に行ってください。
 また、撮影用に配線押さえゴムは外してあります。

フレキシ配線についてのご案内

【0.5mm ピッチ FFC コネクタを実装する場合】

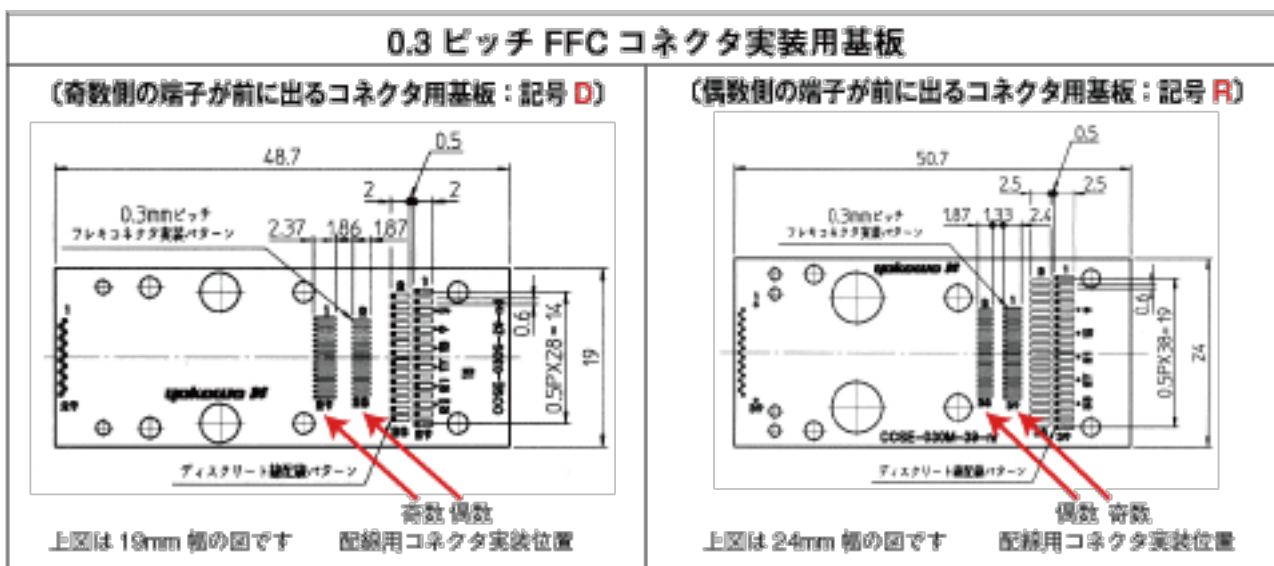
配線カバーを取り付けた状態では、29 極までの 0.5 ピッチフレキケーブルが使用できます。

30 ~ 39 極のフレキシ配線を行う場合は、CCSE-030L- 極数が CCSE-030L- 極数-ZZ をご使用ください。

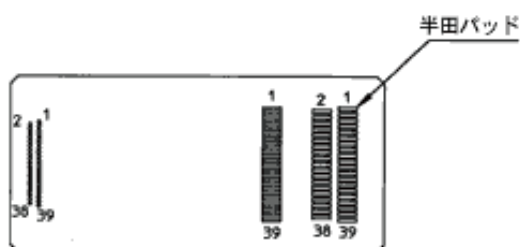
0.3mm ピッチ FFC コネクタ実装用基板をお選びいただけます。

「クリップコネクタ問い合わせシート」にご希望の基板タイプをご指定ください。

※ご指定のない場合は 0.5mm ピッチ実装用基板となります。



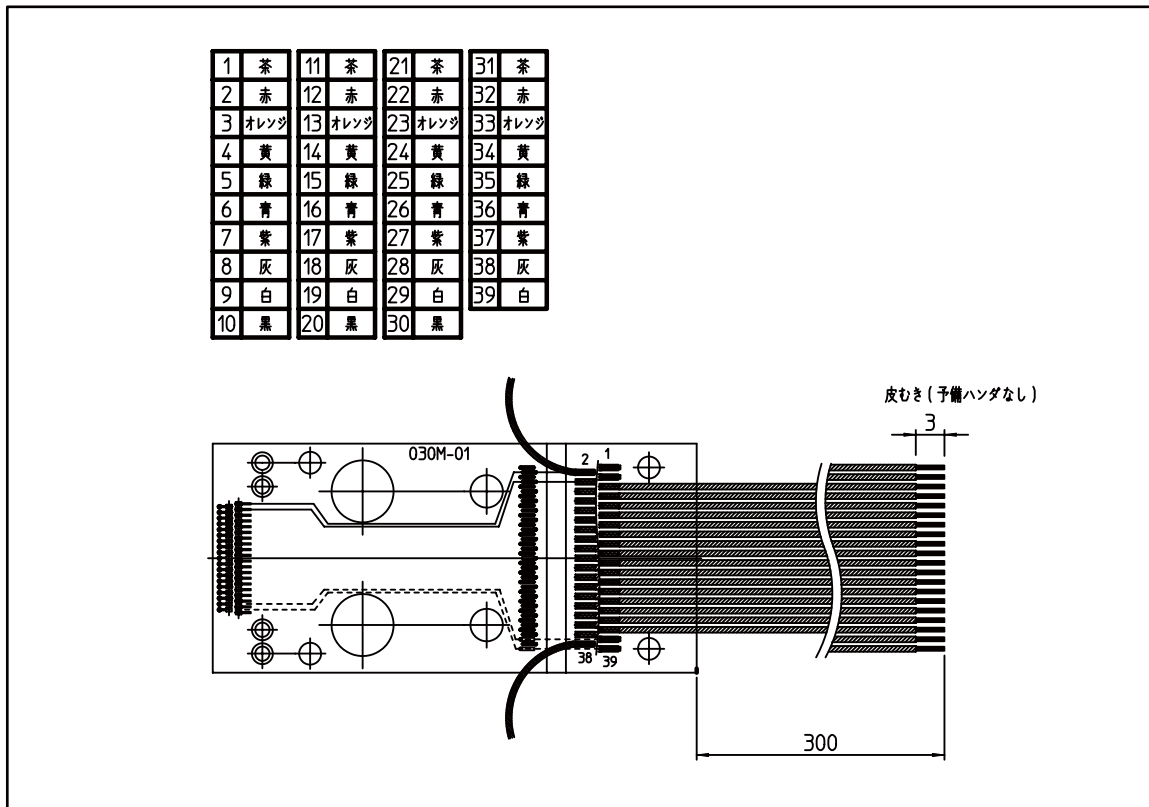
特別なご指定のない場合ガイドはセンター合わせとなっています。



基板記号 H の場合は 39 極分の
 ディスクリート配線が半田付けされています。

使用する極数	使用しない半田パッド No.	
11 極	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
13	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
15	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
17	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
19	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
21	1 2 3 4 5 6 7 8	30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
23	1 2 3 4 5 6 7 8	32 33 34 35 36 37 38 39
25	1 2 3 4 5 6	32 33 34 35 36 37 38 39
27	1 2 3 4 5 6	34 35 36 37 38 39
29	1 2 3 4	34 35 36 37 38 39
31	1 2 3 4	36 37 38 39
33	1 2	36 37 38 39
35	1 2	38 39
37		38 39
39		

※極数が偶数の場合は、都度確認させていただきます。



基板パターンと線材色の関係は上図をご参照ください。ただし、クリップコネクタの仕様（ピン配置）によって、使用する配線は異なりますので、必ずご確認ください。
 配線は導体径 0.24mm 絶縁外径 0.54mm 配線長は基板後端より 300mm、電線の末端は 3mm のストリップした 10 色のディスクリート線を使用します。

CCSE-030M- 極数 -FRC

